(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7 年 6月 28日

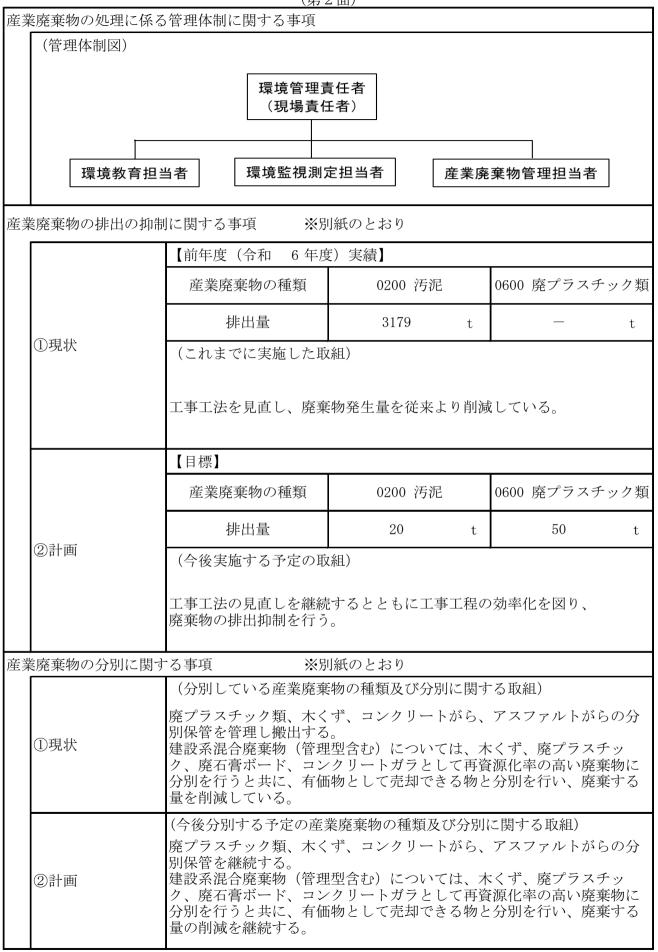
神戸市長 宛

提出者

住所 神戸市中央区港島南町7丁目3番7号 氏名 日揮株式会社 所長 川﨑 健 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 078-958-6136

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	0)	名	称	JBX1プロジェクト建設工事
事	業	場の)所	在	地	兵庫県神戸市中央区港島南町7丁目3番7号
計		画	期		間	2025年4月1日~2026年3月31日
当彰	亥事業	美場に:	おいて	現に	行。	っている事業に関する事項
	①事	業の種	重類			06:総合工事業
	②事	業の規	見模			130億円
	③従	業員数	汝			20名
		業廃乳理のこ		一連		【建設汚泥】 委託処理「破砕」→再資源化 【廃プラスチック類】 委託処理「破砕・選別」→再資源化 【木くず】 委託処理「破砕・選別」→再資源化 【コンクリートがら】 委託処理「破砕」→再資源化 【混合廃棄物(管理型)】委託処理「破砕・選別」→再資源化/埋立



産業	美廃棄物の排出の抑制	に関する事項						
		【前年度(令和 6年度)実績】					
		産業廃棄物の種類	0800 木くず		1300 ガラスくず、コ クリートくず及び陶A 器くず			
	①現状	排出量	14. 3	t	560. 5 t			
		(これまでに実施した取締	組)					
		工事工法を見直し、廃棄物	物 双化豊む役立上 //) 吊门/闫	: レブルス			
		工事工仏を允担し、廃来1	の先生単で促木より	/ H11/19				
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	0800 木くず		1300 ガラスくず、コ クリートくず及び陶A 器くず			
	②計画	排出量	10	t	300	t		
		(今後実施する予定の取組)						
		工事工法の見直しを継続するとともに工事工程の効率化を図り、 廃棄物の排出抑制を行う。						
産業	! 美廃棄物の分別に関す	る事項						
		(分別している産業廃棄物						
	①現状	廃プラスチック類、木くず、コンクリートがら、アスファルトがらの分別保管を管理し搬出する。 建設系混合廃棄物(管理型含む)については、木くず、廃プラスチック、廃石膏ボード、コンクリートガラとして再資源化率の高い廃棄物に分別を行うと共に、有価物として売却できる物と分別を行い、廃棄する量を削減している。						
	②計画	(今後分別する予定の産業 廃プラスチック類、木くり 別保管を継続する。 建設系混合廃棄物(管理な ク、廃石膏ボード、コンタ 分別を行うと共に、有価格 量の削減を継続する。	ず、コンクリートが 型含む) についてに クリートガラとして	がら、 は、木 で再資	アスファルトがらの分 くず、廃プラスチッ 源化率の高い廃棄物に			

宏	乗物の排出の抑制	に関する東頂					
庄未死;	来1000019FII10019FIII		E)実績】				
		産業廃棄物の種類	2020 建設系混合廃棄物 (管理型含む)	_			
	TI. 115	排出量	10.66 t	— t			
	見状	(これまでに実施した取	:組)				
		工事工法を見直し、廃棄物発生量を従来より削減している。					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	2020 建設系混合廃棄物 (管理型含む)				
		排出量	120 t	t			
2	計画	(今後実施する予定の取組)					
		工事工法の見直しを継続するとともに工事工程の効率化を図り、 廃棄物の排出抑制を行う。					
産業廃	 棄物の分別に関す	る事項					
		(分別している産業廃棄	物の種類及び分別に関す	「る取組)			
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取納 廃プラスチック類、木くず、コンクリートがら、アスプ 別保管を管理し搬出する。				てくず、廃プラスチッ 資源化率の高い廃棄物に			
27		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、木くず、コンクリートがら、アスファルトがらの分別保管を継続する。 建設系混合廃棄物(管理型含む)については、木くず、廃プラスチック、廃石膏ボード、コンクリートガラとして再資源化率の高い廃棄物に分別を行うと共に、有価物として売却できる物と分別を行い、廃棄する量の削減を継続する。					

自ら行う産業廃棄	物の再生利用に関する事項	※別紙のとま	3り		
	【前年度(令和 6年度)	実績】			
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1	0600 廃プラス・	チック類
①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_	t	_	t
	(これまでに実施した取組	1)			
	これまでに、自社で産業廃	棄物の再生利 原	用を行っ	ったことはない。	
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1	0600 廃プラス・	チック類
@ 11 T	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_	t	_	t
②計画	(今後実施する予定の取組	1)			
自ら行う産業廃棄	引き続き、自社で産業廃棄 物の中間処理に関する事項	受物の再生利用を ※別紙のとま		予定はない。	
	【前年度(令和 6年度)	•			
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1	0600 廃プラス・	チック類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_	t	_	t
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_	t	_	t
	(これまでに実施した取組	1)			
	これまでに、自社で産業廃	薬物の中間処理	里を行っ	ったことはない。	
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1	0600 廃プラス・	チック類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_	t	_	t
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_	t	_	t
	(今後実施する予定の取組	1)		•	
	引き続き、自社で産業廃棄	手物の中間処理 を	を行うう	予定はない。	

自身	っ行う産業廃棄物の再	手生利用に関する事項						
		【前年度(令和 6年度	E) 実績】					
		産業廃棄物の種類	0800 木くず	1300 ガラスくず、コン クリートくず及び陶磁 器くず				
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t				
		(これまでに実施した取	(組)					
		これまでに、自社で産業	廃棄物の再生利用を行っ	ったことはない。				
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	0800 木くず	1300 ガラスくず、コン クリートくず及び陶磁 器くず				
(②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t				
		(今後実施する予定の取組)						
		引き続き、自社で産業廃	棄物の再生利用を行う 予	定はない。				
自员	っ行う産業廃棄物の中	『間処理に関する事項						
		【前年度(令和 6年度	E) 実績】					
		産業廃棄物の種類	0800 木くず	1300 ガラスくず、コン クリートくず及び陶磁 器くず				
	(A. 441 T)	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t				
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	- t	- t				
		(これまでに実施した取	(組)					
		これまでに、自社で産業	廃棄物の中間処理を行っ	ったことはない。				
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	0800 木くず	1300 ガラスくず、コン クリートくず及び陶磁 器くず				
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	— t				
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	- t				
		(今後実施する予定の取	組)					
		引き続き、自社で産業廃	棄物の中間処理を行う予	定はない。				

t					
, \ ₀					
t					
【前年度(令和 6年度)実績】					
t					
t					
, \ _o					
t					
t					

	(第4				
自ら行う産業廃棄物	物の埋立処分又は海洋投入処分	に関する事項	※另	川紙のとおり	
	【前年度(令和 6年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥		0600 廃プラスラ	・ック類
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_	t	_	t
	(これまでに実施した取) これまでに、自社で産業 とはない。		分又は海	手洋投入処分を行	ったこ
	【目標】	0000 777			.
	産業廃棄物の種類自ら埋立処分又は	0200 汚泥		0600 廃プラスラ	
②計画	海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_	t	_	t
産業廃棄物の処理の		※別紙のとお) 実績】			
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥		0600 廃プラスラ	・ック類
	全処理委託量	3179	t	_	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3179	t	_	t
ATH #17	再生利用業者への 処理委託量	_	t	-	t
①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	_	t	_	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	_	t	_	t
	(これまでに実施した取) 中間処理業者と委託契約 が高い業者を選定するよ	前にリサイクル率	卒等を調	骨査し、リサイク	ル率

	(第4章				
1ら行う産業廃棄	物の埋立処分又は海洋投入処分し	に関する事項			
	【前年度(令和 6年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	0800 木く		300 ガラスくす クリートくず及 器くず	
①現状 ②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_	t	_	t
	(これまでに実施した取) これまでに、自社で産業 とはない。		分又は海洋	羊投入処分を行 っ	ったこ
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	0800 木く		300 ガラスくず クリートくず及 器くず	
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_	t	_	t
 	ない。 の委託に関する事項 【前年度(令和 6 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	0800 木く]	300 ガラスくす クリートくず及 器くず	*、コ; び陶研
	全処理委託量	14. 3	t	560. 5	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	14. 3	t	560. 5	t
①現状	再生利用業者への 処理委託量	_	t	_	t
924	認定熱回収業者への 処理委託量	-	t	_	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	_	t	-	t
	(これまでに実施した取り) 中間処理業者と委託契約 が高い業者を選定するよ	前にリサイクル	— 率等を調査		レ率

自身	っ行う産業廃棄物の埋	里立処分又は海洋投入処分	に関する事項		
		【前年度(令和 6年度	E)実績】		
		産業廃棄物の種類	2020 建設系混合廃棄 (管理型含む)	物	
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	_	t
		(これまでに実施した取	· 《組》	,	
		これまでに、自社で産業 とはない。	廃棄物の埋立処分又は	は海洋投入処分を行	すったこ
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	2020 建設系混合廃棄 (管理型含む)	物	
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	_	t
	② 計画	(今後実施する予定の取	(組)		
		引き続き、自社で産業廃 ない。	棄物の埋立処分又は海	辞投入処分を行う	う予定は
産業	美廃棄物の処理の委託	Eに関する事項			
		【前年度(令和 6年度	E)実績】		
		産業廃棄物の種類	2020 建設系混合廃棄 (管理型含む)	物	
		全処理委託量	10.66 t	_	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	10.66 t	_	t
		再生利用業者への 処理委託量	— t	_	t
	①現状 	認定熱回収業者への 処理委託量	_ t	_	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	_	t
		(これまでに実施した取	(組)		
		 中間処理業者と委託契約	前にリサイクル密笑を	◆調杏 〕 リサイノ	アル密
		が高い業者を選定するよ		. ную <u>т нь</u> О ,	/•

(第5面)

	一	o			
	【目標】	※別紙のと‡	おり		
	産業廃棄物の種類	0200 汚派	3	0600 廃プラスチ	ック類
	全処理委託量	20	t	50	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	20	t	50	t
	再生利用業者への 処理委託量	_	t	_	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	_	t	_	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	_	t	_	t
	(今後実施する予定の取 新規中間処理等を選定す 前調査し、リサイクル率	る場合は、昨年月		にリサイクル率を	き事

		II) - Z			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	0800 木く	ず	1300 ガラスくす クリートくず及 器くず	
	全処理委託量	10	t	300	
	優良認定処理業者への 処理委託量	10	t	300	
	再生利用業者への 処理委託量	_	t	_	
	認定熱回収業者への 処理委託量	_	t	_	
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	_	t	_	
	新規中間処理等を選定す前調査し、リサイクル率の			にリサイクル率を	を事

	(第5	面) -3			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	2020 建設系混合 (管理型含む			
	全処理委託量	120	t	_	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	120	t	_	t
	再生利用業者への 処理委託量	_	t	_	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	_	t	_	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	_	t	_	t
	(今後実施する予定の取 新規中間処理等を選定す 前調査し、リサイクル率	る場合は、昨年月		にリサイクル率を馴	事

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。